

星花きらめく



令和2年6月15日(月)
長野市立裾花中学校
NO. 5

☆通常一斉登校が始まり、3週目に入りました☆

6月1日(月)から通常一斉登校が始まり、2週間が経ちました。長野市の感染状況は文部科学省が示した基準では、先月末の段階から最も低い「レベル1」相当との見解が出されておりましたが、長野市教育委員会の「6月1日以降、まずは文部科学省のマニュアルのレベル2の行動基準を参考として教育活動を進める」との方針を受け、6月第2週までの間を、学校における「新しい生活様式」への移行・定着期と位置づけてやってきました。そして、本日からは、「各校における新しい生活様式の定着状況を確認しながら、レベル1による対応へと段階的に移行していく」ということになっています。

今後の本校の取組を次のようにまとめました。

【学習について】

生徒や保護者から、概ね2ヶ月間の臨時休業があったことで、①授業時間の不足、②学習進度の遅れや未履修の発生等、心配や不安な声をいただいております。これについて改めて計算したところ、①例年4・5月は学校・学年行事が多く、またGW等の休日が多いこと、②夏休みを短縮したり、水曜の6時間目等を利用したりして、学習時間を増やしていくこと、③今後の行事等を精選していくこと等の理由や取組をしていくことで、国が定めている年間授業時間数1,015時間に対して、現段階で約1,050時間程の授業時数が確保できる見通しとなっています。ただし、学活や総合、行事が含まれており、教科学習のみに限定するとやや不足が生じますが、臨時休業中の課題として出しておりますので、例年と比べやや遅れはあるものの、概ね例年通りに進めていくことが可能だと判断しております。

だからといって、安心していただける状況ではなく、不測の事態に備えつつ、今まで以上に「先生から教えてもらう」学習から「自ら学んでいく」学習(主体的な学び)へと、授業改善に取り組みながら、各教科の学習を進めていきたいと思っております。

【清掃について】

先週まで、生徒たちの安全面に配慮し、校内の流しとトイレについては、職員で清掃していましたが、今週より生徒による清掃を再開します。トイレ清掃は、今までも清掃担当専用の厚手のゴム手袋を使用して行ってきましたが、流しの清掃についても、トイレ同様、厚手のゴム手袋を使用して行っていきます。

【部活動】

長野県教育委員会事務局スポーツ課の示した「部活動・クラブ活動練習再開プラン」を踏まえて、今週から6月いっぱい、活動時間を最大90分までとし、運動強度や心身の状況を考慮しながら、活動を実施していきます。また、文化部の活動についても、同様に行っていきます。

1年生の部活動見学、仮入部等も始まっていきますが、慌てることなく進めて行きたいと思っております。

以上のことを踏まえ、今後も本校では「健康観察・健康管理の徹底」「手洗い・換気の徹底」「三密の回避」(ソーシャルディスタンスの励行)「マスクの着用」等、安全・安心な教育環境の維持に、最大限努力して参りたいと思っております。ご理解とご協力をお願いします。

◇ 6月1日の校長講話より（抜粋） ◇

<前略>

本日より、学校が再開されることを、生徒の皆さん、そして、先生方と喜び合いたいと思います。学校再開にあたり、二つのことを皆さんに伝えたいと思います。

<中略>

次に、「学習」についてです。

これについては、4月28日、学校だよりで皆さんに伝えた内容を、改めて、伝えたいと思います。

「学校の新しい生活様式」にもあったように、今後、新型コロナの第2波、第3波が到来することが予測されています。そして、その状況では、学校の一斉臨時休業も想定されます。一方、現段階で、今年度の1/6が終了してしまったという現実もあります。

このような状況を踏まえる時、例年と同様の授業を行っていても、それぞれの学習内容を終えることは難しいということを、皆さんは理解できると思います。そこで、以前お伝えしたように、休み中に課題として扱った部分は、学習済みとして扱っていくことになります。

しかし、先生方はできる限り、学び直しをしたいと思います。時間がない中、学び直しをするためには、これまでと同じような授業を行ってはい間に合いません。新たな授業の進め方を始めなければならないのです。

一斉臨時休業の登校の際、先生方は、皆さんに対して、学習プリント提示したり動画を紹介したりしながら、一人ひとりが学習を進めていくことができるように、支援を行ってきました。私は、先生方に、

「登校した際に、一つの問題が解けるようになるよりも、学習の仕方の指導をお願いします。」

と話してきました。そして、この方向性は、学校が再開した後も同じです。

以前書いた内容です。

「これら現状を踏まえ、私から皆さんにお願いがあります。それは学習について、今まで以上に、『先生から教えてもらう』から『自ら学んでいく』へと、価値観を変えていただきたいということです。昨年度、2・3年生の皆さんには、文部科学省からこれからの学習の方向性として『主体的・対話的で、深い学び』というキーワードが示されたという話をしましたが、『主体的』の部分を一気に加速し、進めていくのです。そして、それは皆さんの『自立』にもつながります。皆さんにすぐに理解してもらうことは難しいと思いますし、この実現には多くの試行錯誤や時間が必要だと思います。とても大きな転換ですが、生徒・保護者・先生、それぞれが力を合わせて、何としても実現しなければなりません。」

「教えてもらう」から「自ら学ぶ」は、授業改善の大きなポイントとなります。今後の授業では、先生の指導のもと、友だちとかかわりながらポイント等を理解する時間と、一人で課題に向かい、定着させる時間の二本立てとし、日常的に自学自習を取り入れ、支えていく予定です。教科によっては、数時間に1回の割合で、自学自習を行う時間を設ける場合もあると思います。また、学校としても、2、3年生はわかると思うのですが、テスト前に行った「どこでも講座」を、月に何回か設けていくつもりでいます。

「自ら学ぶ」という学習を進めていく上でポイントになるのは、自学自習の時間はもちろん、休み時間や放課後、わからないところがあれば、自ら聞く習慣を身に付けていくということです。「わからない」という言葉を、周囲に向けて発信できるようになっていきましょう。そして、自学自習の時間は、その日学んだことのみに限らず、それまでに学んだことを振り返ってもいいですし、前に進めていくことも可能です。自分にとって有意義な時間にしていきましょう。

◇これまでの学校生活の様子より◇



安茂里地区住民自治協議会のみなさんとあいさつ(愛の声かけ)運動① (R2. 6. 4 朝)



1年生「ひまわりの植え」
立派な花を咲かせてね！



裾花中伝統の「夜学」18年目に突入！
ボランティアの小林先生、今年もお願いします。



延期になっていた「第1回避難訓練」、命を守る大切な訓練！(雨天のため、各学年分散で)



安茂里地区住民自治協議会のみなさんとあいさつ(愛の声かけ)運動② (R2.6.12朝)



アンネのバラ！ 見事に咲きました！！



セクハラや生徒に関わる相談窓口は、
西澤 友子 (養護教諭)
小伊藤裕子 (養護助教諭)
廣田 和彦 (教務主任) です

長野市立裾花中学校 文責 市川 寿 (教頭)
電話：026(226)1804
FAX：026(226)1881
電子メール susobanajh@nagano-ngn.ed.jp
HP：http://www.nagano-ngn.ed.jp/susobana

